

### 第3回 江東区 緑の基本計画改定委員会・幹事会 議事録

日 時	平成31年2月26日(火) 15:00~17:00
場 所	江東区文化センター5階 第6会議室
出席者	<p>〈改定委員会委員〉</p> <p>■学識経験者          島田正文 委員長 (日本大学 生物資源科学部 暮らしの生物学科特任教授)          柳井重人 副委員長 (千葉大学 大学院園芸学研究科准教授)          佐藤留美 副委員長 (特定非営利活動法人 NPO birth 事務局長)</p> <p>■区民代表          萩原かほる 委員 (江東区立小学校 PTA 連合会副会長)          梅谷真美 委員 (区民応募)</p> <p>■行政          押田文子 委員 (政策経営部長)          代理: 高垣克好 幹事 (計画推進担当課長 (政策経営部参事))          林英彦 委員 (環境清掃部長)          長尾潔 委員 (都市整備部長)          並木雅登 委員 (土木部長)          武越信昭 委員 (教育委員会事務局次長)</p> <p>※欠席: 榎直倫 委員 (江東区立中学校 PTA 連合会副会長)          西島和 委員 (区民公募)</p> <p>〈改定委員会幹事会委員〉          太田邦彦 幹事 (営繕課長)          吉野正則 幹事 (温暖化対策課長)          老川和宏 幹事 (都市計画課長)          中尾英樹 幹事 (道路課長)          仁平剛男 幹事 (施設保全課長)          谷川寿朗 幹事 (学校施設課長)          伊藤秀一 幹事 (指導室長) (代理: 金指 大輔統括指導主事)</p> <p>※欠席: 炭谷元章 幹事 (企画課長)</p> <p>〈事務局〉          管理課: 石井課長、七條係長、八巻          河川公園課: 大野課長、鈴木係長、大橋          PCKK: 松延、谷、酒本、福永</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 次第</li> <li>• 資料1: 第2回 江東区 緑の基本計画改定委員会における意見と対応 (概要)</li> <li>• 資料2: 江東区のみどりの現状と課題</li> <li>• 資料3: みどりの機能解析</li> <li>• 資料4: 計画の理念、将来構造、基本方針、目標</li> <li>• 参考: 現行計画及び上位計画・関連計画における目標達成状況</li> </ul>

次第	1. 開会挨拶 2. 前回の委員会におけるご意見と対応 3. 議題 1) 計画の理念、将来構造、基本方針、目標 4. その他
----	--

## <議事概要>

### 1. 開会挨拶

- 委員長：本日は、委員会と幹事会を同時開催とさせていただきます。行政委員の発言が中心になるが、補足的な発言など、幹事の皆様にも忌憚のないご意見をお願いします。議題に入る前に、本日の傍聴に関して事務局より報告をお願いします。
- 事務局：傍聴者はいない。

### 2. 前回の委員会におけるご意見と対応

事務局から資料1～3に基づき、前回の委員会におけるご意見と対応について説明した。

#### 【みどりの機能解析】

- 委員長：トンボを指標種とすることはよいと思うが、止水域を好むトンボと流水域を好むトンボの種類があり、その生態を掴んでおいたほうがよい。  
⇒事務局：江東区で発見されているアジアイトトンボなどは止水域が必要。川などの流水域を好む種もいるが、今回は江東区で発見されている種という点から止水域をプロットしている。
- 委員長：「防災・減災」に関して、一時集合場所の中に、地域防災計画で位置付けられた防災空地も含まれるのか。  
⇒事務局：確認する。  
⇒委員長：区の地域防災計画で防災空地の指定があるので表示したほうがよい。  
⇒事務局：一時集合場所については区立公園や児童遊園等、避難場所については都立公園等となっている。  
⇒事務局：一時集合場所については区立公園や児童遊園等、避難場所については都立公園等となっており、公園も記載されているので、地域防災計画の指定防災空地とほぼ一致している。
- 計画推進担当課長（政策経営部参事）：「環境」について、地表面温度は過去のデータと比較することは可能か。  
⇒事務局：比較することは可能であるが、気候状況などによる差があるため緻密な比較は難しい。  
⇒副委員長：完全に比較することは困難である。標準化などの処理を行えば、相対的な比較は可能かもしれない。
- 副委員長：江東区の特徴である河川や水路、緑道をどのように評価するかが非常に重要である。「健康・福祉」の問題点・課題においても、連結性を高める観点からの課題抽出が必要であるが、その点について触れられていない。ウォーキングや避難経路、生き物の移動経路などの連結性をどう評価するのか重要である。

○副委員長：みどりの機能解析は綺麗に整理されており、区の財産が分かる図であると思う。「生物多様性」について、トンボの種の多様性が環境の生物多様性につながり、水辺の環境によってトンボの種類も異なるので、種を絞ることには賛成である。また、「ポケットエコスペース・ビオトープ」の凡例が「生物多様性」と「子育て・教育」で異なっているが、意図はあるか。  
⇒事務局：最終的には統一する。

○副委員長：現行計画と比較すると、以前はビオトープ・ポケットエコスペースが 39 か所あったが、この 10 年間で減っていることが課題であるので、もう少し盛り立てていくような仕組みが必要である。また、「子育て・教育」において、自然体験的な活動が求められていることから、若洲公園のようなキャンプやアウトドアができる視点を示したほうがよい。  
⇒事務局：水上アスレチックやじゃぶじゃぶ池などの資源もあるので、それらも含めて図上に示す。

○副委員長：「コミュニティ形成」について、「コミュニティガーデン」と「住宅団地のオープンスペース」の凡例の色が似ているので調整していただきたい。コミュニティ形成とは、世代別と世代間の交流による楽しみ方があるので、そのような視点が反映できるとよい。公園などのオープンスペースだけでなく、講座等を開催する際に活用できる区民館や文化センターなど、セットで捉えていくという視点があるとよい。「歴史・文化」において、「地域の共有財産として保全しようという機運につながっていない」ということが問題点・課題として示されているが、そのためには普及・啓発が必要である。講座や展示会を開催する場として、前述のような施設を活用することも必要である。全般的に大きな公園や地域のコミュニティスペースとなるような公園は、名称が示されているとわかりやすいと思う。「健康・福祉」について、施設だけでなく、スポーツレクリエーションのプログラムやイベントが示されるとよい。全体的にハード面だけでなく、ソフト面も図に示していただけるとよい。

○委員：江東区は今大変よいイメージになっている。みどりの機能解析の資料を見ると、非常に緑も多く、歴史や文化、川など多くの資源があることが読み取れる。ぜひ、じゃぶじゃぶ池やキャンプ場のようにテントを広げて楽しめる場所なども示していただけるとよい。区民は身近な公園の魅力は知っていても、住んでいる地域以外のことは知らないことも多いかもしれない。解析内容が一目瞭然でわかるようなマップになるとわかりやすいと思う。

#### 【江東区のみどりの現状と課題】

○委員：昨年、豊洲市場が開場し、来年はオリンピック・パラリンピックが開催される。多くの外国人が来日することが見込まれる。緑や水辺がよくなり、「江東区はすごいな」と感じてもらえるとよい。6 頁の「みどりの満足度」で、満足している理由は示されているが、満足していない理由とは何か。

⇒事務局：前回の計画策定時のアンケートには設問があったが、満足している理由の裏返しであったため、今回は設問として設定しなかった。

○委員：「子育て・教育」の図から、コミュニティガーデンや農園などが少ないことが感じられる。

身近にあれば親子で利用したいというニーズは多いと思うので、そのような点を充実していただけるとよい。「取組みたいことの妨げ」として、「取組むために必要な情報を得られない」という区民の割合が 24%となっているので、積極的に情報発信ができるとうよい。現状では、CIG に対する区民の認知度も低い。「公園が増えれば緑が増える」という発言を前回したが、公園整備も大変な事業かと思う。ただ公園があるだけではなく、管理や整備することにも重点を置いて取り組んでいただけたらと思う。

#### 【まとめ】

○委員長：行政委員ならびに幹事の皆様につきましては、多々お気付きの点があるかと思うが、委員会メンバーの意見を優先させていただきたいため、後日、事務局にお伝えいただければと思う。日本の水の都というと、大阪や倉敷、佐原などの都市が挙がるが、江東区は水の都としてのイメージが浮かんでこないように感じる。多くのご意見をいただいたので、必要に応じて資料の加筆・修正を行うとともに、施策につながるような点についてもご指摘をいただいているので、十分に検討していただければと思う。

### 3. 議題

#### 1) 計画の理念、将来構造、基本方針、目標

事務局から資料4に基づき、計画の理念、将来構造、基本方針、目標について説明した。

#### 【基本方針】

○委員長：緑視率は今回が初めてか。

⇒事務局：CIG ビジョンには記載している。

○副委員長：まとまりのよい方針になっていると思う。「みどりをみんなで守り育てます」という文言はよいが、事業者との公民連携が不足しているように感じる。「みどりの機能解析」においても、新木場駅前の NEC の取組みや竹中工務店が行っている緑に関する活動など、民間の取組みが取り上げられていない。公民連携という視点から、民間事業者では先進的な活動をしているので、どのような取組みをしているのかを示さなければもったいないと思う。今後につなげるような解析が必要であると感じた。

○委員：4つの基本方針は、とてもわかりやすくよい。全ての項目が「みどり」から始まるので、区民の皆様にも理解しやすいかと思う。

⇒委員長：前回のご意見に配慮いただいたと思う。

○委員：4つの基本方針はわかりやすくよいと思うが、より惹きつけられるようなインパクトのある表現があるとよい。「みどりをより柔軟に使える」というよりは、「みどりを楽しんで活用できる」というような表現であるとよりよいと思う。アイデアとしては、ふるさと納税やクラウドファンディングなどで区民から寄付を募り、その返礼品として区内の農園の利用権利を贈るということを考えてもよいのではないか。将来的に区民を巻き込んでいく仕組みがあるとよい。

○委員長：基本的にこの4つの基本方針で納得いただけたかと思うが、表現方法については検討い

ただきたい。大規模な公園と小規模な公園について、今後は役割分担が必要になる。それぞれの公園が個性を持ち、区民に満足度を高めていただけるような公園のあり方も必要だと思う。みどりの拠点については、みどりの機能や基本方針、地域の個性や固有性を総合的に判断し、大規模公園が地域のネットワークの中心となり、それぞれの公園に合わせて個性や固有性が表現されるとよい。現状の表現では大規模公園だけがみどりの拠点と捉えられてしまうので、もう少し文言を工夫した方がよいと思う。

#### 【将来構造】

- 副委員長：「みどりの将来構造」において、「みどりの拠点となる大規模な公園」という文言では、大規模な公園のみがみどりの拠点と捉えられるので、拠点の役割とは何かを考えた方がよい。区全地域が緑化重点地区となっているが、地区別の取組み方針は策定するのか。
  - ⇒委員長：策定する。
  - ⇒事務局：9月開催予定の第5回委員会において、ご検討いただく。
  - ⇒副委員長：地域ごとに個性があるということが江東区の魅力であり、重点地区の視点からもそのようなニュアンスが表現されるとよい。

- 副委員長：区立公園などの小さい公園も多くあり、全てが地域のみどりの拠点であり、コミュニティや防災など様々な拠点になっていると思う。西東京市で市立公園の指定管理をしており、エリアマネジメントとパークマネジメントを掛け合わせた方法で管理を行っている。地域住民が様々なプロジェクトを考え、公園を盛り立てていき、地域の安全やコミュニケーションを図っていくことで、みどりの拠点のネットワークが意味のあるものになる。具体的な施策の内容として、区民が自ら公園をつくっていくような施策が必要だと思う。大規模な公園緑地だけでなく、小さな公園や緑地も含めて拠点という捉え方が必要である。「みどりの機能解析」の「コミュニティ形成」においても、小さな公園の役割をしっかりと記載できればよいと思う。

#### 【目標】

- 副委員長：区民評価に関する目標を設定した基準とは何か。
  - ⇒事務局：区民評価に関する目標を設定した意図は、これまで量的な充実は図られていたが、今後はみどりのあることの大切さや有難さを区民に知ってもらおうということにシフトチェンジしたいという視点からである。区民アンケートの結果において、基準値が追えるということから目標例をお示ししたが、ほかにご意見等があればご提案いただきたい。
  - ⇒副委員長：「みどりに関する活動に取り組んでいる区民」として、現状の割合が示されているが、その内容が示されると目標につながっていくと思う。もう少しブレイクダウンしたものがあり、課題や目標値などを議論できるとよい。「一時集合場所を知っている」という区民の割合が7割と関心が高い部分であると思うので、これをどう捉えるのか。「週1回以上公園を利用している区民の割合」は、利用頻度が重要であり、どのような利用方法なのかを解析した上で項目立てができると思う。
- 委員長：個人的な意見として、区民評価を目標値にしていることは素晴らしいと思う。計画の達成状況を示す目標は、緑の基本計画の目標値として整理する。
  - ⇒副委員長：緑被率が高まっても、区民の実感が得られなければ意味がない。区民の実感を指標

にすることは重要である。

#### 【行政委員から一言】

- 環境清掃部長：環境基本計画を改定しており、現行計画においても生物多様性に関しては記載している。今後の環境要因の変化や緩和策・適用策、生物多様性なども含めて内容を見直していく。今年度中に方針を立て、どの程度の取組みができるかということを経験収集しながら考えているところである。
- 都市整備部長：来年度、再来年度で都市計画マスタープランの改定を行う予定であるが、基本的には現行計画を継承していくことを想定している。現行計画では、重点項目として「水とみどりの都市づくり」を掲げており、これに基づき CI-G の実現を謳っているため、今回の緑の基本計画のテーマと合致していると思う。見た目が区民の実感にもつながる指標であると感じるので、緑視率を重要視していただきたい。
- 教育委員会事務局次長：教育推進プランにおいても、みどりの教育を謳っており、校庭芝生化や木質化などの整備が進んでいる。それらを活用し、体感しながら自然に身につくような仕掛けを取り入れたいと考えている。
- 土木部長：現行の緑の基本計画は、行政のみどりをづくりサービスの提供をしていく内容であった。今回策定する計画において、情報発信や民間事業者の取組みのなどは非常に重要である。「みどりの拠点」の議論でもあったように、地域住民だけにしかみどりの良さが理解していただけないと思う。新しい区民にも理解していただけるような努力をしなければならないと思う。

#### 【欠席の西島委員からのご意見】

- 委員長：欠席の西島委員からご意見をいただいている。時間の関係上、要点を説明させていただく。資料4「計画の達成状況を示す目標」に数値があった方がよい。緑被率については、平成24年度比で減少していることから、目標達成を目指すための課題の整理が必要である。基本方針の「みどりをより柔軟に使える」というのは、みどりの減少につながるのではないかと、とのことである。事務局からの回答をお願いする。
  - ⇒事務局：「計画の達成状況を示す目標」について、今後、将来目標を設定させていただく。基本方針の「みどりをより柔軟に使える」については、多様なニーズに応える公園づくりが必要という課題を受けての表現である。具体的な表現については、今後の検討で調整する。
  - ⇒委員長：今後、目標を目指すのであれば、緑化基準を設定するなどの課題整理をする必要があるのではないかとご意見もいただいている。

#### 【まとめ】

- 委員長：本日いただいたご意見・ご質問について修正したものを第4回委員会でお示しする。大変恐縮であるが、修正内容については、私に一任いただきたい。できる限り皆様のご意見を尊重させていただきたいと思う。

#### 4. その他

- 事務局：意見書を配布している。ご意見、ご質問あればそちらに記載していただき、3月5日（火）までに提出してもらえればと思う。次回、第4回委員会は、7月頃を予定している。また、会議資料は開催日の1週間前に事前送付させていただく。

一以上